

令和2年度

人口減少時代の コンパクトなまちづくり

人口減少と少子高齢化が急速に進む中、住民が安心して快適な暮らしを営んでいけるまちづくりが必要となっています。将来のまちの姿や人々の暮らしをイメージしながら、地域の実情に応じた持続可能なまちに転換するための方策について、最新動向を含む講義や先進事例等を通じて学びます。

研修の ポイント

- 自治体の現状と課題を検証し、コンパクトなまちづくり政策についての知識を深める。
- 住民にとって最適なまちづくりを実現するための都市計画制度、またその支援措置について学ぶ。
- 課題演習等により、コンパクトなまちづくりに向けた施策を提案し、実践する能力を養う。

開催要領

日 程

令和2年7月14日(火)～7月16日(木) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

都市計画、まちづくり、企画等業務に携わる市町村等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和2年6月1日(月)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書は、JIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付とさせていただきますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和2年

7月

14日(火)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~15:35

講義 人口減少時代のコンパクトなまちづくり

筑波大学システム情報系社会工学域 教授 谷口 守氏

人口減少時代のまちづくりにおける重要なコンセプトとして「コンパクトシティ」があげられます。本講ではその基礎を学ぶとともに、その現状と課題を検証し、中山間地域における「小さな拠点」等の考え方も含めた持続可能なまちづくりについても言及していただきます。

15:50~17:00

演習 意見交換

筑波大学システム情報系社会工学域 教授 谷口 守氏

各自治体での取組や課題等について共有し、課題解決に向けた議論を深めます。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~10:35

講義 立地適正化計画制度によるコンパクトなまちづくり

国土交通省都市局都市計画課

コンパクトなまちづくりを推進するための立地適正化計画制度や支援措置、先進事例等をご紹介します。

10:50~12:00

事例紹介 藤枝市の取組

静岡県藤枝市都市政策課

官民連携による中心市街地への都市機能の誘導や中心市街地の既存ストック高質化と活用による賑わい創出、スマートモビリティへの挑戦、身近な移動手段の確保やICTを活用した防災まちづくりなど、都市課題への多彩な対応策や、今後の展開についてご紹介いただきます。

13:00~14:10

講義 人口減少時代の都市計画

東京都立大学都市環境科学研究科都市政策科学域 教授 饗庭 伸氏

人口減少が本格化し、都市を縮小しようとする様々な取組が進められています。地域で暮らす住民の多くが満足できる住みやすいまちとはどういうものなのか、それらを実現するための都市計画とはどういうものなのか、人口の動きを適切に把握しながらまちを再構成していく、これからの都市計画の制度と手法について学びます。

14:25~17:00

課題演習 住民の暮らしを重視したまちのたたみ方(グループ討議)

東京都立大学都市環境科学研究科都市政策科学域 教授 饗庭 伸氏

コンパクトなまちづくりの実現に向け、その対応が欠かせないといわれているスポンジ化対策などをテーマにグループ討議を進めます。

17:00~

課外演習

9:25~12:00

課題演習 住民の暮らしを重視したまちのたたみ方(グループ討議・発表・講評)

東京都立大学都市環境科学研究科都市政策科学域 教授 饗庭 伸氏

グループごとに考察した内容や討議の成果を発表します。その後、講師より発表に対する講評等をいただきます。

13:00~14:10

講義 総括講義

東京都立大学都市環境科学研究科都市政策科学域 教授 饗庭 伸氏

3日間の研修のまとめとして、ご講義全体の総括をしていただきます。

14:10~14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和2年

7月

15日(水)

令和2年

7月

16日(木)